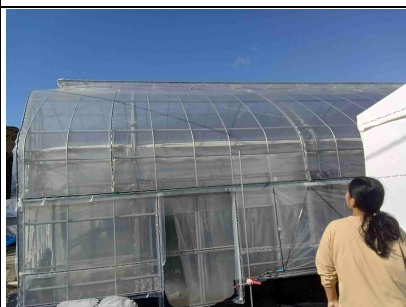


普及活動情勢報告（令和8年1月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

メーカーとの協働による栽培管理技術の改善支援 ～土佐市ピーマン部会～



天窗の開度を確認する農家

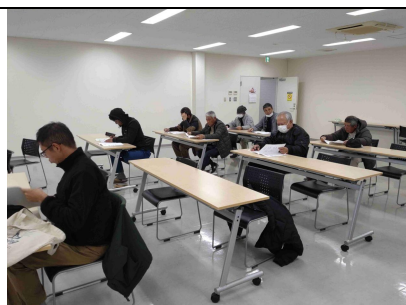
12月23日、機械メーカー及びJAと協働し、土佐市ピーマン部会の生産者の栽培改善支援を行いました。

JAの営農指導員とともに、SAWACHIを活用したハウス内環境データと、ピーマンの生育状況を確認しながら、生産者毎の栽培管理の課題を洗い出し、個別で改善指導を実施しています。

今回は、厳寒期の天窗の開度設定に課題があり、日中温度が確保できていない生産者に対して、機械メーカーからの設定方法の指導のもと、適正な温度管理が実行できるよう支援を行いました。現在は、理想的な温度管理が実現できています。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携し、ピーマンの生産安定に向けて支援をしていきます。

新高梨の適期収穫を目指して ～まるい果実部研修会～



研修会の様子

12月25日、まるい果実部の研修会が開催され、10人のナシ生産者が参加しました。

近年、温暖化の影響で新高梨の熟期が変化しており、収穫時期を見極めることが難しくなっています。そこで、農業改良普及課は、果実の細胞分裂期の平均気温を基に収穫時期を予測する新しい方法を開発し、参加者に報告しました。

この技術は非常に高く評価され、参加者からは「素晴らしい」との声が上がりました。

今後、農業改良普及課では、この予測方法を活用して適期収穫を進めていきます。

土佐市の担い手確保に向けて ～高知暮らしフェアに参加～



フェアでのPRの様子

1月17日、大阪府で開催された『高知暮らしフェア』に土佐市とともに参加し、来場者に土佐市での就農等についてPRを行いました。

土佐市のブースには来場者19組（うち農業にかかる相談7組）が立ち寄りました。農業改良普及課は、産地提案書を用いて産地紹介や求める人材、地域おこし協力隊、農業で働きたい人と農家をマッチングする『あぐりマッチこうち』等について説明しました。来場者には、土佐市での就農に繋がられるように、その後の状況確認等を行っていきます。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して積極的に就農相談会等に参加し、担い手の確保に取り組んでいきます。